

カテゴリー	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																					
18	☐	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	ISO14001の認証を取得している。			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
19	☐	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	環境方針の社内掲示・HPで環境情報を公開している。												12.6					
20	☐	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	関連会社の太陽光発電事業のサポート(建設・運営・管理)を行っている。							7.2						13				
21	☐	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	リサイクル資材の活用、再生資源の利用を積極的に行っている。大型車両や重機を省エネ型の最新のものに入れ替え、燃料の消費を軽減している。												12.2	13	14	15		
22	☐	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	汚職・贈収賄を禁止するとともに、行動規範を整備して社内浸透を図っている。																16 16.5	
23	☐	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	不正競争行為を含む行動規範の整備と社内研修を実施している。																16	
24	☐	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	第三者の特許権及び著作権など知的財産権の不正利用や侵害する行為は行わない事を社内教育で周知している。								8.2 8.3	9								
25	☐	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	「個人情報保護方針」を定めて公表している。																16	
26	☐	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	鉱物を取り扱う事業は行っていない。																16	
27	☐	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	【予定】 工事下請基本契約書に該当項目を明記する。 協力業者、取引先との対話を通じ人権侵害防止、贈収賄防止等の認識を共有し共に取組みを実施する。					5			8		10		12	13	14	15	16	17
28	☐	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	ISO45001運用における安全対策・施工会議を実施し、製品・サービスの安全性を担保している。			3.9									12.4					
29	☐	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	工事成績点の目標を定め、課題の把握・改善を継続的に実施している。社内ハートロール・社内検査により品質を確保する。									9								
30	☐	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	環境に配慮した施工方法を積極的に提案している。						6						12	13	14	15		
31	☐	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	防災・減災、国土強靱化に向けた工事を積極的に受注している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
32	□	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	工事施工前に地域の自治会・住民に、工事内容や日程など生活に与える影響範囲について説明会を事前に開催している。				4					9		11	12		14	15		17
33	□	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	職員の消防団活動を奨励し、長野市の消防団協力事業所となっている。地域の災害復旧工事に迅速に対応している。				4							11			14	15		17
34	□	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ	地元企業の生産する果樹や加工食品を、贈答品等に積極的に利用している。								8	9		11	12	13				
35	□	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	経営理念・経営目標を明文化している。役員会・社員全体会議で、経営者が社員に直接説明し目標を共有している。								8	9								17
36	□	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	環境方針・労働安全衛生方針において、法令順守の宣言を行っている。外部からのコンプライアンス研修を実施している。																16	
37	□	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	統合マネジメントシステム(IMS)の運用と内部監査・マネジメントレビューによるPDCAIに基づいた管理体制を整備している。																16	
38	□	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本	ステークホルダーとの情報共有・相互理解・意識の共有を図り、事前調整・事前説明・意見交換を適切に実施している。																16	17
39	□	【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	統合マネジメントシステム(IMS)に基づいたリスクアセスメントと、PDCAIに基づいたリスク管理システムを実施している。																16	
40	□	【社会的責任】 ・CSR（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	CSR方針の策定、CSRマネジメントプロセスを整備している。																16	
41	□	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	【予定】 事業継続計画(BCP)の策定、大気的な訓練を実施する。									9		11		13 13.1			16	
42	□	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	技術者の確保、新規採用、経験者採用を継続している。								8	9								17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】 ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。） ・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。 ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。 また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。 （※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）
